



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2009年10月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

第13回日本太鼓全国フェスティバル ～九州の地大分県で開催！～



(フィナーレ)

第13回日本太鼓全国フェスティバルを、9月6日(日)、大分県別府市・B-CON PLAZAにおいて、1,000人の観客を前に盛大に開催いたしました。

このフェスティバルは日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、全九州太鼓連合、大分県支部が主管となり、文化庁のほか、地元の大分県、大分県教育委員会等の後援をいただき行われました。

当日は天候にも恵まれ、開場の1時間以上も前からお客様が列を作られるなど、全国フェスティバルに対する期待が伺えました。公演は、主催者を代表して当財団の塩見和子理事長の挨拶、浜田博別府市長のご祝辞と続き、主管団体を代表して全九州太鼓連合の長谷川義会長の挨拶で幕を上げました。続いて全国トップレベルの10チームが渾身の演奏を披露しました。

以下出演団体をご紹介します。



(太鼓道場「風の会」)

1. 満願寺・堀川宥玄(長野) …故小口大八先生に師事し、満願寺のご住職でもある堀川氏のテーマ「世界の平和」と「万民の幸せ」を願って、般若心経と太鼓の演奏を披露しました。
2. 太鼓道場「風の会」(山形) …山形県酒田市で誕生した「風の会」は、日本三大砂丘の1つに数えられている庄内砂丘で日本海を渡る風が生み出す様々な「風紋」を勇壮な演奏で表現しました。
3. 富岳太鼓・竜神組(静岡) …静岡県御殿場市にある(社)富岳会の施設利用者と職員の混合チームは、障害を感じさせない迫力ある太鼓の響きにお客様より心が震えたという賞賛が寄せられました。
4. 倉敷天領太鼓(岡山) …岡山県から初参加となるチームです。客席から笛の演奏で登場し、その後、力強い太鼓演奏へとつながる息をつかせぬ迫力にお客様の目を釘付けにしました。
5. 高野右吉と秩父社中(埼玉) …毎年12月の始めに埼玉県秩父市で行われる日本三大曳山祭である「秩父夜祭」のお囃子の華やかさを、一足早く大分の舞台上で再現しました。
6. 津 高虎太鼓(三重) …戦国武将の藤堂高虎に由来する津高虎太鼓は、1973年に設立した太鼓チームです。会員200名から選抜されたメンバーが、打ち込む曲に客席は、魅了されていました。
7. 太鼓研修センター「響」(宮崎) …今年3月に行われた日本太鼓ジュニアコンクール優勝チームが優勝時の曲を披露しました。一糸乱れぬ大人顔負けの演奏に会場から感嘆の声があがりました。
8. 手取亢龍太鼓保存会(石川) …昔から地元に伝わる虫送りの太鼓で有名な「手取亢龍太鼓保存会」は、大きな桶胴太鼓を演奏しながら客席から登場し、スケールの大きな演奏を披露しました。
9. 豊の国ゆいん源流太鼓(大分) …2007年に由布市の無形文化財に指定された源流太鼓は、速さの極限を追求した締太鼓の演奏と大太鼓を中心とした「荒城の月」を披露しました。

10. 大分県合同チーム(大分) …大分県支部加盟団体の会員から選ばれた66名の皆さんが一つとなり、長谷川義全九州会長の作曲した「碧空」を演奏し、その迫力に会場から大きな拍手が贈られました。

第14回大会は、宮城県仙台市にて開催！

次回第14回日本太鼓全国フェスティバルは、来年2010年7月18日(日)、宮城県仙台市「イズミティ21」にて開催いたします。



(倉敷天領太鼓)

*** 大分県支部の野依修視支部長より、今フェスティバルについてご寄稿頂きました。**

大分県で日本太鼓全国フェスティバルを開催して

大分県支部長 野依 修視

まず以て、大分県初開催の「第13回日本太鼓全国フェスティバル」がすべての皆様のお陰で無事に成功を取ることが出来ましたこと心より感謝申し上げます。特に今回は、前日に「全九州ジュニア太鼓フェスティバル」を開催し2日間の大事業でした。関係者・スタッフの皆様本当にお疲れ様でした。

やはり一大事を成功させようと思えば本当に大変なことです。私たちは普段自分の仕事を持って生活をしています。その中で大好きな太鼓をやっている訳です。自分たちがイベントに出演するのは違いお客様をお招きし、このような大きなイベントを開催するためには様々な打合せや準備が必要です。

そのためには、やはり財団事務局の皆様にご指導いただきながら共に準備を進めて行かなければなりません。本当にご迷惑を掛けながら小さいところまでご指導いただき開催出来るわけです。

大分県支部では、全国講習会及び支部講習会を経験し、財団助成の支部事業等もこれまでこなしてはきていました。しかし、全国フェスティバルは九州では2回目であり、大分県では初の開催です。当初誘致の話があった際には即答が出来ず悩みました。財団事務局より話があったら8割方決定したも同然？覚悟を決めなければいけません。心配しながら、2007年1月大分県支部総会時に「第13回日本太鼓全国フェスティバル」大分県誘致予定を発表しました。会員の反応は思ったより良く、「決まったんやろ。仕方ねえやん。成功させんと。」・「場所は？」・「いつ？何時から？」・「出演団体数は？」等々、既に臨戦態勢というか、「いつでもコイ」という心強い支部会員の言葉にホッとしたことを思い出します。

2006年大分県支部長に就任してすぐ全国講習会の開催。事務局長時代に講習会を経験しているとはいえ立場が変われば違うもので、終了するまで様々な重圧に悩まされました。しかし、常に支部会員の皆様の協力及び全九州太鼓連合のご協力により何事もなく無事終了してきました。今回のフェスティバルについても無事に成功し、盛会の内に終了できました。観客の皆様からも全国の太鼓を肌で感じる事が出来たと感激の声が寄せられました。大分県合同チーム曲「碧空」の演奏においても高評価をいただき作曲、ご指導いただいた長谷川義全九州太鼓連合会長に感謝です。

何かやろうとすると、つくづく感じます。一人では何も出来ない。一人の無力さ…

いくら良いことを言っても賛同してくれる人、理解してくれる人がいなければ何も出来ません。各々が、自分の役割を理解し、共に成功に向け進む姿に対し、これまでもこれからも感謝の気持ちで一杯になります。

「大事を済すには必ず人を以て本と為す」人は大事です。支える人々がいてこそ大事は達成するのです。

繰り返しますが、ご協力いただいた地元関係団体・全九州太鼓連合・(財)日本太鼓連盟・演奏していただいた各出演団体・ご来場いただいたお客様・この日を陰に日向に様々お支えいただいたすべての皆様に感謝感激です。そしてお陰様です。ありがとう。



(大分県合同チーム)

第13回日本太鼓全国フェスティバルと全九州ジュニア太鼓フェスティバル見学感想文

台湾太鼓協会 理事長 王 妙 涓



(台湾太鼓協会のみんで会場にて)

台湾太鼓協会は2007年10月に成立しました。成立記念に日本財団、日本太鼓連盟より、豊の国ゆふいん源流太鼓を派遣して下さり、台北、嘉義、台中などの都市で計4回の公演を行いました。各公演に多くの観客から大きな反響があり、日本太鼓の素晴らしさに非常に感動いたしました。この公演で、会員達は日本太鼓をより好きになりました。

そのご縁で長谷川先生に会い、台湾太鼓の役員をはじめ、会員たちは皆、是非源流太鼓に師事したいと強く願っておりました。先生はそんな私たちの願いを聞き入れてくださり、お忙しい中無償で台湾へご指導にお出でになりました。会員達も湯布院に訪ねて、太鼓道に励んでおります。

日本太鼓普及のために協会は日本太鼓連盟指導(日本と同じ内容)の基で台湾全国太鼓講習会を行っております。今年の7月4日、5日に第3回台湾全国日本太鼓講習会を行いました。現在5級224人、4級78人、3級21人、2級10人が合格しています。長崎、佐賀の全国太鼓講習会にも参加させて頂きました。来年2月鹿児島での講習会にも参加の予定です。

今年の12月3日、5日、6日に「太鼓撃響 天下太平」をテーマに第2回台湾全国聯合日本太鼓フェスティバルを行います。ゆくゆくはジュニアコンクールの開催も考えています。

そんな中、大澤事務局長から9月5日、6日別府にて第13回日本太鼓全国フェスティバル&全九州ジュニア太鼓フェスティバルがあるとのお知らせがあり、色々お勉強させて頂きたく、役員と太鼓団リーダー12名で日本へ参りました。

リハーサルでは大澤事務局長の舞台演出効果に対する要求の高さ、各出演チームの謙虚さ、素早さなどに、感銘を受けました。台湾日本太鼓フェスティバルの時に、お手本にさせて頂きたく存じます。

全九州ジュニア太鼓フェスティバルでは各団体の曲風、音楽表現などとても印象深く残りました。小さな子も、大人に負けない力強く、格好よく、顔の表情も楽しそうでした。ここまで表現するには、かなりの練習を重ねていることが想像できます。台湾の子ども達にも出来るだろうかという思いと、台湾に戻ってから、子ども達と一緒に太鼓の練習を頑張る力が湧いて来ました。あまりに素晴らしい太鼓演奏に、同行の役員何人かは最後まで涙が止まりませんでした。とても幸せな気持ちになりました。

第13回日本太鼓全国フェスティバルでは、もっと感動!最初の堀川和尚による「太鼓祈福」に観客まで慈悲の心が共鳴致しました。全国からの代表チームは個々の特色があり、曲の喜、怒、哀、楽を感じ、また、演出者の「力と美」の表現、日本太鼓の精神、魂、太鼓の真、善、美、生命力を実感させられました。太鼓の音楽の世界に引き込まれた時間でした。フェスティバルを通して、改めて日本太鼓の素晴らしさを実感致しました。

この度、日頃から大変お世話になっている塩見理事長をはじめ、長谷川副会長やフェスティバルの関係者の皆様には大変お世話になりました。ここにて改めて心より厚くお礼を申し上げます。これからも日本文化の一つである日本太鼓の精神、魂を台湾で打ち込んで世界の皆様を幸せに出来る嬉しです。一生懸命頑張りますので財団日本太鼓連盟をはじめ、太鼓の先進の方々、何卒ご指導の程よろしく願い申し上げます。

胸打つ迫力のリズム

日本太鼓全国フェスティバル

第13回日本太鼓全国フェスティバル(大分合同新聞)後援が6日、別府市のビーコンプラザであった。全日本で8000団体が出展する日本太鼓連盟の主催。各地から集まった日本を代表する8団体と、第11回日本太鼓ジュニアコンクール(3月、静岡県)で優勝した「響」が出演した。講師寺(鹿野県)の堀川有幸氏による指導で、観客心を惹き込んだ「響」で幕明け。現代感覚に満ちたオリジナル曲や、地域の祭りや伝統のリズムに根差した作品など、個性と迫力に満ちた音がホールに響き渡った。太い太鼓を打つ際の力こもった演奏に加え、思ひ合ったダイナミックなパフォーマンスで「響」の魅力を最大限に引き出した。

聴衆を魅了。客席から大きな歓声と拍手がわいた。地元の名物ゆふいん源流太鼓(田布市)に続いて、最後に登場したのは、高校生のジュニアを中心とした師匠の県合同チーム。並べ、長谷川義・全九州太鼓連合会長(ゆふいん源流太鼓)が創作、指導した「響」を演奏。一打一打に心を込めて太鼓を打ち鳴らし、フィナーレを飾った。

「響」が出演した。講師寺(鹿野県)の堀川有幸氏による指導で、観客心を惹き込んだ「響」で幕明け。現代感覚に満ちたオリジナル曲や、地域の祭りや伝統のリズムに根差した作品など、個性と迫力に満ちた音がホールに響き渡った。太い太鼓を打つ際の力こもった演奏に加え、思ひ合ったダイナミックなパフォーマンスで「響」の魅力を最大限に引き出した。

←2009年9月7日(月)
大分合同新聞掲載
「胸打つ迫力のリズム
日本太鼓全国フェスティバル」

三重で支部講習会を開催

＜第46回日本太鼓支部講習会(三重)＞

9月12・13日(土日)、三重県支部主催の講習会が、津市美里文化センターにて実施され、3・4・5級基本講座に、約50名が参加しました。

開会式では、三重県支部中田支部長の挨拶で2日間にわたる講習会が始まりました。残暑厳しい津市で、受講生は暑さに負けず熱心に太鼓をたたいていました。

○基本講座 講師

総合指導	古屋 邦夫氏
3級基本講座	松枝 明美氏
4級基本講座	若山 雷門氏
5級基本講座	渡辺 洋一氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定	5名受験	5名合格
4級検定	18名受験	18名合格
5級検定	25名受験	25名合格



(4級基本講座の様子)

東京・虎ノ門一丁目琴平町の夏祭り

8月7日(金)、東京・虎ノ門一丁目琴平町会のお祭りが開催され、東京都の代表としてジュニアコンクールに出場した「邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア」が演奏を行いました。

恒例となった夏祭りでの太鼓演奏に、道行く人々も足を止め、夏の暑さを一時忘れ見入っていました。

終了間際に夕立に襲われましたが、大事なく終えることができました。



(邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア)

第22回水心会夏祭り

9月8日(火)、水心会が親睦を目的に開催している恒例の夏祭りが行われました。今回は、これまでに行ってきた船の科学館から東京日本橋の三越本店屋上ビアガーデンに会場が変わりました。水心会は当財団が助成を受けている日本財団や日本モーターボート競走会などの関連団体から構成されています。今年は天気にも恵まれ、風船空気入れなどのゲームで会場は大賑わいでした。また、今年も当財団に要請があり、太鼓2チームが出演しました。東京の「邦楽アカデミー和太鼓大元組」と共に、大元組に指導を受けている日本財団関連団体関係者で構成された「和太鼓水心会」が会場内ステージで新曲を含む2曲を演奏し、夏祭りを大いに盛り上げました。日ごろの練習の成果に参加者から盛大な拍手が贈られ、仕事を離れた仲間たちの勇姿に会場は大盛り上がりでした。都会のビルの屋上で、さわやかな風が吹き抜ける中、演奏者の方々も気持ちよく太鼓をたたいていました。



(邦楽アカデミー和太鼓大元組)



(和太鼓水心会)

* J I C A (国際協力機構)よりシニアボランティアとしてブラジルに派遣された蓑輪敏泰氏(申間くるみ太鼓代表・宮崎)が2年間の和太鼓指導を終えて2009年7月に帰国されました。2年間の経験を振り返ってご寄稿いただきました。



(講習会の様子)

ブラジルの思い出

蓑輪敏泰

昨年の会報10月号に書いたように、「ブラジル・日本移民100周年記念式典」での1,000人打ち太鼓は、涙と感動のうちに閉幕となったが、その余波は1年以上経った今でもブラジル日系人の間で語られ、和太鼓関係者の自慢の種となっている。この成功の裏には、関係者の努力はもちろんのこと、日本財団、(財)日本太鼓連盟、故小口大八先生、渡辺洋一先生、古屋先生、松枝先生、影山先生からのご支援ご指導があったからであり、ブラジル太鼓協会関係者は、今も、また今後も忘れてはならない。

J I C Aのシニアボランティアとして2007年7月～2009年7月迄、ブラジル太鼓協会を受け入れ先として2年間和太鼓の指導(職種・日本文化)に携わってきた。その中で経験した事を記すことで、ブラジル日系人、ブラジルの和太鼓、そしてブラジルに興味を持っていただければ幸いです。

ブラジル太鼓現況

人口1億8,000万人を超すブラジルの中で、日系人は6世までおりその数約150万人といわれている。生活レベルは中位以上がほとんどで、全国に散らばっているものの、日本の気候に似た、サンパウロ州、パラナ州に多く住んでいる。従って太鼓協会加盟チームもこの2州が9割を占める。

2年前の着任時約60チーム、1,500名、現在80余チーム、2,000名。増加の要因として、昨年6月までは100周年の1,000人打ち太鼓の参加、その後は、日系人の日本文化に対する復古心と、和太鼓の持つ魅力が波紋状に広がっていった。そしてその波は現在も消えず広がりを見せている。

打つ技術は向上し、日本との差をそれ程感じさせないチームもある。それに比べ太鼓そのものが貧弱で、ベニヤ板を使った胴が主流。早く改善されることを望む。(この数年、寄せ木作りが出ては来たが高価。)

交通事情

よく利用されているのが長距離夜行バスだ。500

～1,000kmの移動に使い、1,000kmを越す移動は航空機を使った。失敗もあった。450kmの町に夜行を利用したところ、午前3時に着いてしまい、迎えが来るまでの3時間、うす暗いターミナルの固いイスに娘と2人、周りの異様な目線と雰囲気は怖い思いをした。航空機の利用でも失敗があった。リュックの外ポケットに入れたデジカメとお金を盗られた。どの失敗も自分の不注意が招いた結果と反省する。(この失敗がブラジル太鼓協会の役員さんの耳に入り、後日日本製の高級デジカメをプレゼントされ恐縮の至り。)8万km(地球2周分)を移動し、今では一人でもブラジル全土を歩けそうな気がする。

リーダー養成

1年目は1,000人打ちを2年目はリーダーの養成と遠方への普及を中心に活動してきたが、どの練習でも基本打ちに2～5時間使い、リーダー達には自分の担当する範囲を与え、それと向かい合って立ち、良い打法、悪い打法を見つけ(目配り)、それをわかりやすく相手の立場に立って(気配り)ほめたり、注意をする(行動)。このような方法で2年間やってきたが、集大成とまではいかないまでも、5、6月にサンパウロとパラナ州で2日ずつ4日間、リーダーのみの研修を開いた。計110名の参加があり、リーダーとしての心得、時間の厳守、体力作り等、太鼓を打つ以外の勉強が中心であった。特に曹洞宗の和尚さんを招いての「座禅」は太鼓協会役員さんの参加もあり、評判がよかった。この研修は、リーダーとはどうあるべきかを考えるよい機会になったと思う。

後記

太鼓メンバーの保護者の作る日本料理はありがたかった。(味噌汁、煮しめ、赤飯など。)帰国2ヶ月前、リオデジャネイロの海の見えるマンションで、ジャグジー風呂に入り、キングサイズベッドで休んだ最高の2日間は今でも記憶に新しい。

背中を押してくれた家族、太鼓関係者、ブラジルの知人、友人に2年間無事に終えられたことを感謝します。

近い将来またブラジルに行くことを約束して!



(好評だった座禅)

「知的障害者が描くピュア・アート・コレクション」開催

9月28日(月)～10月2日(金)、東京都港区日本財団ビル1階で社会福祉法人富岳会の主催による「知的障害者が描くピュア・アート・コレクション」が開催されました。

静岡県御殿場市にある富岳会を利用する知的障害者の個性あふれる伸び伸びとした絵を多くの方々に鑑賞していただきました。また、授産施設でつくられたお菓子や手作り雑貨の販売等もあわせて行われました。

絵画を出展された方の中には、富岳会太鼓チームで太鼓を打っている人もおります。このように、太鼓療育と絵画療育が障害者の自信と自立心を高める手助けとなっています。



(会場の様子)

全国障害者大会無事終了！

10月18日(日)に第11回日本太鼓全国障害者大会を石川県のこまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)において無事開催いたしました。今回は、下記に記載の通り、24団体が出演いたしました。

詳細は、次号会報49号(1月発行)で掲載いたします。

期日：2009年10月18日(日) 開場 12:30 開演 13:00

会場：こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市土居原町710 Tel. 0761-20-5500)

入場：無料

出演した団体は次の通りです。

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1 富岳太鼓 竜神組(静岡) | 13 石川県立ろう学校 風神太鼓(石川) |
| 2 甲州ろうあ太鼓(山梨) | 14 鼓友 夢光組(富山) |
| 3 北龍太鼓(静岡) | 15 豊里学園 和太鼓 鼓粹(大阪) |
| 4 京都府立与謝の海養護学校寄宿舎(京都) | 16 新潟ろうあ万代太鼓 豊龍会(新潟) |
| 5 伊豆医療福祉センター どんつく(静岡) | 17 諏訪養どんどん太鼓(長野) |
| 6 あそかの園 同朋太鼓(山口) | 18 和太鼓集団 韻(大阪) |
| 7 和太鼓ちんどん(長野) | 19 東京ろう者 和太鼓倶楽部「鼓友会」(東京) |
| 8 視聴覚二重障害者福祉センターすまいる(大阪) | 20 やまびこ太鼓(福島) |
| 9 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム(静岡) | 21 洞月太鼓(石川) |
| 10 四国中央磐座太鼓ろうあ部会 鼓龍会(愛媛) | 22 ファミリーユニット童鼓(岐阜) |
| 11 静岡ハンディキャップ太鼓の会(静岡) | 23 社会福祉法人 南陽園 ふれあい和太鼓(石川) |
| 12 諏訪聾太鼓(長野) | 24 恵那のまつり太鼓(岐阜) |

第12回日本太鼓全国障害者大会のご案内!!

今回は千葉県成田市の「成田市体育館」において2010年10月17日(日)に実施予定です。

第6回日本太鼓シニアコンクール

日時：2009年11月22日(日)

会場：津幡町文化会館「シグナス」(石川県河北郡津幡町北中条3-1 Tel. 076-288-8526)

主催：(財)日本太鼓連盟、(社)石川県太鼓連盟、(財)石川県芸術文化協会、北國新聞社

連絡先：(財)日本太鼓連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580

各種会議を開催 ～代議員会・運営委員会・技術委員会～

第12回代議員会が7月10日(金)に東京・船の科学館で開催されました。また、同日に第39回運営委員会と第34回技術委員会が合同で開催されましたので、ご報告いたします。審議、決定された事項は次の通りです。

〈代議員会〉

1. 「2008年度事業報告並び決算報告について」
2. 「2009年度事業計画並び収支予算について」
3. 「その他について」

〈運営委員会・技術委員会〉

1. 「2008年度事業報告について」
2. 「2009年度事業の実施と今後の予定について」
 - ①助成金交付事業の決定(第3次)について
第3次となる助成金の申請内容について説明し、審議の結果、4事業を承認した。
 - ②日本太鼓ジュニアコンクールの実施について
課題曲の選定と審査員の候補者を選定し、承認した。
3. 「日本太鼓資格認定制度について」
 - ①公認指導員の昇級と推薦について
 - ・1級公認指導員への昇級候補、田中容子氏(京都)については、審議の結果、昇級を承認された。
 - ・新設の大阪府支部からの推薦のあった谷上悦子、山名利枝両氏については、全国講習会(兵庫)に参加し、指導力を確認したため3級公認指導員に認定された。
 - ・財団設立から10年を経たことから、全支部に指導員候補者の推薦について該当者の有無を調査し、55名の推薦があったため審議した結果、代議員会において、支部長に推薦の確認をした上で、講習会に参加させ、指導力を確認することとした。
 - ②第4期公認指導員更新研修会について
4. 「その他について」
 - ①特別会員の入会について
特別会員として入会希望の「吉敷鳳嗣太鼓保存会」(山口)について説明し、入会を承認した。
 - ②功労者表彰について
財団設立10年を経ており、各支部に対しこれまでに貢献のあった功労者のリストアップを要請したところ、4名の推薦があり、全員一致で承認した。なお、感謝状の贈呈方法については、各支部に一任することとした。

ジュニアコンクール予選・推薦の結果報告は11月末締切!!

2010年3月21日(日)埼玉県さいたま市で第12回日本太鼓ジュニアコンクールが開催されます。予選実施計画書をまだ提出していない支部事務局はお早めにご提出下さい。(未提出のまま実施しても出場が認められませんので、注意して下さい。)

また、11月末日までに予選実施報告書・出演団体推薦書・出演申込書を提出して下さい。課題曲は全チームが確定後、年内に一斉配布致します。

なお、予選のない地域で出場を希望される団体は、財団事務局までご連絡下さい。(Tel. 03-6229-5577)

1級・3級公認指導員が誕生!

技術委員会で検討した結果、田中容子氏(京都)が1級公認指導員に認定されました。おめでとうございます!

また、大阪府支部より推薦のあった谷上悦子氏(大阪)、山名利枝氏(大阪)の両氏の指導力も全国講習会で確認され、3級公認指導員に承認されました。昇級された方々、おめでとうございます。これで1級公認指導員は41名、2級45名、3級115名となりました。(2009年10月1日現在)

当財団では今後も指導者育成を図るための「公認指導員(1級～3級)」及び太鼓の演奏技術の向上を目的とした「技術認定員(1級～5級)」の育成に努めていく所存です。皆さんの講習会へのご参加をお待ちしております。



田中 容子氏
(京都和太鼓龍船)

事務局だより

第36回日本太鼓全国講習会(富山県氷見市)

*併せて公認指導員の更新研修会を行います。

日 時：2009年11月7日・8日(土日)

主 催：(財)日本太鼓連盟

会 場：氷見市ふれあいスポーツセンター(富山県氷見市鞍川43-1 Tel. 0766-74-8500)

講 座：○専門講座

三ツ打太鼓講座(複式単打法) 河合 睦夫氏(富山県)
秩父屋台囃子講座(複式複打法) 高野 右吉氏(埼玉県)
締太鼓講座(単式単打法) 渡辺 洋一氏(東京都)

○基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)
3級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)
4級基本講座 若山 雷門氏(1級公認指導員)
5級基本講座 松枝 明美氏(1級公認指導員)

申 込：(財)日本太鼓連盟富山県支部 事務局長 熊野誠

〒939-1362 富山県砺波市太郎丸194-2 Tel/Fax. 0763-32-2807 携帯 090-3294-9711

第47回日本太鼓支部講習会(静岡県御殿場市)

日 時：2010年1月16日・17日(土日)

主 催：(財)日本太鼓連盟静岡県支部

会 場：富岳太鼓パレス(静岡県御殿場市神山1925-1148 Tel. 0550-87-0167)

講 座 総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)
4級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)
5級基本講座 松枝 明美氏(1級公認指導員)

第37回日本太鼓全国講習会(鹿児島県霧島市)

*併せて公認指導員の更新研修会を行います。

日 時：2010年2月27日・28日(土日)

主 催：(財)日本太鼓連盟

会 場：霧島国際音楽ホールみやまコンセール

(鹿児島県霧島市牧園町高千穂3311-29 Tel. 0995-78-8000)

*申込先などの内容は、決定次第随時財団ホームページに掲載いたします。

<http://www.nippon-taiko.or.jp/>

日本太鼓助成金事業交付事業の追加募集の結果&来年度分募集

7月10日(金)第39回運営委員会において、下記4事業を決定し、今年度の助成交付先は全て決定いたしました。報告書受理後、助成金20万円が交付されます。また引き続き、2010年度助成金交付事業の募集を行っております。1事業20万円、締切は12月25日(金)までとなっております。詳細は、財団事務局までお問合せ下さい。

(財)日本太鼓連盟 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580 メール info@nippon-taiko.or.jp

開催期日	事業名	申請団体
2009年10月25日(日)	日本太鼓フェスティバルIN夕張	北海道道西支部
2009年11月8日(日)	日本太鼓ジュニアコンクール埼玉県大会	埼玉県支部
2010年1月16・17日(土日)	日本太鼓支部講習会	静岡県支部
2010年2月21日(日)	第3回関八州太鼓まつり	群馬県支部